

第64期 中間株主通信
2024年4月1日~2024年9月30日

SHIMA SEIKI REPORT

世界各地の展示会に出展

- ▶ Pitti Immagine Filati 95
- ▶ SAMPE Japan
先端材料技術展2024

[株主のみなさまへ]

厳しい事業環境を変革の好機と捉え、
サステナブルな製品開発と技術革新で、
持続可能な未来に貢献します。

[TOPICS]

- 令和6年度全国発明表彰「発明協会会長賞」を受賞
- 第46回織研賞にて、
名誉会長・島正博が「特別賞」を受賞
- 社内ベンチャーReMateri®が「わかやま環境賞」を受賞

創造の力で未来に幸せを

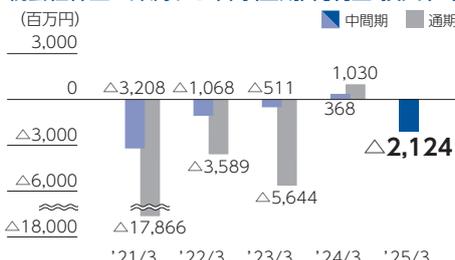


決算ハイライト

売上高



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益・損失(△)



1株当たり配当金





株主のみなさまへ

厳しい事業環境を変革の好機と捉え、
サステナブルな製品開発と技術革新で、
持続可能な未来に貢献します。

代表取締役社長 島 三博

▶ 上半期の総括

当 期(2025年3月期)上半期のアパレル・ファッション業界は、マーケットの活発化が期待されていたものの、中東情勢の緊迫化や世界的な景気減速、さらには暖冬をはじめとする気候変動の影響により、非常に厳しい状況に直面しました。

当社においても、横編機事業では、主力市場である中国では内需の回復が遅れ、第1四半期以降もホールガーメント®横編機などの設備投資が低調に推移しました。またイタリア市場でも、景気減速に加え、昨年の暖冬によるアパレル業界全体の設備投資意欲の減退が続いています。加えて、先進国向けニット生産拠点であるバングラデシュでは、7月の政変による混乱がサプライチェーンに大きな影響を与え、当社顧客の事業運営が困難な状況に陥りました。顧客の設備投資時期が不透明となったことで、第2四半期以降に見込んでいた大口受注も延期を余儀なくされています。

これらの結果、上半期の当初の予想を下回り、連結売上高は147億71百万円(前年同期比22.9%減)、営業損失は19億38百万円(前年同期は営業利益3億67百万円)、経常損失は20億35百万円(前年同期は経常利益5億64百万円)となり、親会社株主に帰属する中間純損失は21億24百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益3億68百万円)となりました。

こうした外部環境の厳しさに直面しながらも、新中期経営計画『Ever Onward 2026』のもと、アパレル・ファッション業界を中心にサステナブルなモノづくりを推進する製品・サービスの提案を積極的に展開しました。特にソフトウェアのサブスクリプションサービス「APEXFiz®」の導入が欧米市場で広がり、欧米の大手アパレルブランドのバイヤーから、生産コストと時間の効率化に対する評価を得たことで、生産工場へシステム導入が広がり、好循環が生まれました。当社のトータルファッションシステム®によるデジタル・トランスフォーメーション(DX)が進

展し、サプライチェーン改革への確かな手ごたえを感じています。

▶ 下半期の展望

世 界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いていますが、当社は各市場へのアプローチを一層強化し、新たなビジネスチャンスを積極的に創出してまいります。特に、主力である横編機事業では、バングラデシュの政治的安定が見込まれており、当社機械の導入が進むことで、受注の回復が期待されています。引き続き、世界各国での展示会等を通じて強力なプロモーション活動を展開していきます。

また、デザインシステム関連事業においては、自動裁断機「P-CAM®」シリーズの市場投入に注力してまいります。ポリウムゾーンを狙ったプロモーションを強化することで、より幅広い市場でのシェア拡大を目指します。

デザインシステムでは、「APEXFiz®」のライセンス契約数が順調に推移しています。当社のデザインシステムは、デザインだけに留まらず、生産データへの変換が可能であり、デザイナーと工場をデジタルでつなぐ独自の強みを持っています。この技術により、生産性の向上とブランド価値の向上に貢献し、大手ファッションブランドからも高い評価を得ています。DX化が進むアパレル・ファッション業界においては必要不可欠な技術であり、今後も市場で大きな需要を見込んでいます。

現在、アパレル・ファッション業界は超高価格帯のハイファッションと低価格帯のファストファッションに二極化が進んでいます。その一方で、物価高騰やサステナビリティへの意識の高まりを背景に、古着市場が急速に拡大しており、今後もさらなる成長が予測されています。新品衣料と古着が同じ市場で競い合う時代の到来が予感される中、当社は古着市場でも選ばれる、長く愛される高品質かつストーリー性のある製品づくりにも貢献し、業界の活性化に寄与してまいります。

アパレル・ファッション業界のサプライチェーン改革を推進する一方で、アパレル分野以外の事業拡大も推進しています。当社の横編機技術は、多くの産業において未開拓のもので、応用の可能性は非常に高いと考えており、モビリティ、医療、家具といった分野におけるビジネスチャンスの創出に取り組んでいます。横編機の中でもホールガーメント®横編機はサステナブルなモノづくりにも貢献します。そのため、サステナビリティに敏感な欧州は事業成長の鍵を握る市場だと期待しており、まずは欧州市場向けに横編機技術のメリットと可能性を訴求してまいります。

下半期以降は、横編機、デザインシステムのさらなる進化、自動裁断機のプロモーション強化、そしてアパレル分野以外での市場拡大に全力で取り組んでまいります。また、バングラデシュや欧米市場での販売を強化し、新たな設備投資を促進することで、来期に向けた基盤を築いてまいります。

▶ 株主のみなさまへ

株 主のみなさまには、日頃より格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。当上半期は、非常に厳しい事業環境の中で苦戦を強いられたことにより、誠に遺憾ではございますが、中間配当金を期初予想から修正し、1株当たり5円とさせていただきました。このような状況下にはありますが、アパレル・ファッション業界の変革に向けたビジネスチャンスと捉え、いまこそ当社の強みである「創造の力」を最大限に活かし、未来を見据えた製品開発と市場拡大に努めてまいります。下半期においても、グローバル市場での競争力をさらに高め、持続可能な企業成長とより良い未来の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。今後とも、株主のみなさまのお声に真摯に耳を傾け、従業員一丸となって努力を続けてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

世界各地の展示会に出展

さらなる市場開拓と販路拡大に向け、2024年上半期は世界各地の展示会に出展しました。今後も業界や地域毎のニーズに合わせ、当社製品・サービスを積極的に発信してまいります。

1 Pitti Immagine Filati 95

2024年6月にイタリア・フィレンツェで開催された「Pitti Immagine Filati 95」に出展しました。同展は糸・ニット素材の歴史ある国際展示会であり、年2回開催されます。商品企画、デザイ

ナー、素材調達、ニットメーカーなど、業界関係者の多くが来場され、当社も毎年出展しています。

今回、当社ブースでは、「サステナビリティ」、「プロモーション」、「人材育成」をコンセプトに、ホールゲーム®の最新機種SWG-XR®を筆頭に計3台の横編機を展示。加えて、APEXFiz®、SHIMA Datamall™、yarnbank®を中心にデジタルソリューションツールを活用した包括的な提案を行いました。

また、学生支援の一環として、学生デザインによ

るニットサンプルを複数展示し、新世代の発想力・想像力によるニットの新たな可能性を示すとともに、業界への貢献も含めた当社の人材育成に対する姿勢を示す機会にもなりました。



2 SAMPE Japan 先端材料技術展2024

2024年9月、東京ビッグサイトにて先端材料と成形・加工技術を広く紹介する「SAMPE Japan 先端材料技術展2024」が開催され、国内外から化学、機械・工具、電気・電子、自動車等幅広い業界関係者が多数来場されました。本展示会は

コンポジット(素材・加工・研究開発)業界国内最大規模の展示会で、同業界では自動裁断機P-CAM®が100台以上導入されていることから、当社にとっても重要な役割を担っています。

今回、当社ブースでは、P-CAM®120Cを実機展示し、熱硬化性プリプレグの裁断、ガラスクロス3枚積層裁断の実演デモを行うなど高精度な積層裁断が可能な点をアピールしました。また、当社

P-CAM®ユーザーの製品サンプルや産業資材系のニットサンプルを多数展示し、世界で唯一自動裁断機と横編機の両方を手掛ける当社ならではの幅広い提案力を訴求することができました。



●2024年上半期 展示会出展実績

開催地	展示会名称
① ドイツ・フランクフルト	Techtextil 2024
② パキスタン・ラホール	IGATEX Pakistan 2024
③ アルゼンチン・ブエノスアイレス	SIMATEX 2024
④ トルコ・イスタンブール	ITM 2024
⑤ イタリア・フィレンツェ	Pitti Immagine Filati 95
⑥ ブラジル・サンタ・カタリーナ	FEBRATEX 2024
⑦ 韓国・ソウル	Preview in Seoul 2024
⑧ 中国・上海	Intertextile Shanghai Apparel Fabrics Autumn Edition 2024
⑨ 日本・東京	第98回東京国際ファッション・ギフト・ショー秋2024
⑩ ウズベキスタン・タシケント	CAITME 2024
⑪ インド・スーラト	Garfab-TX Surat
⑫ 日本・東京	SAMPE Japan 先端材料技術展2024



TOPICS

令和6年度全国発明表彰『発明協会会長賞』を受賞

公益社団法人発明協会が主催し、独創性に富んだ優れた発明をした者に贈られる全国発明表彰において、当社開発本部統括マスターの寺井公一による「デザイナーデータから編み上がり生地を高精度に表現するニット3Dシミュレーターの発明」が『発明協会会長賞』を受賞しました。本発明は当社デザインシステムの根幹となる技術で、ニット製品の企画から販売における業務の負荷と資源の無駄を削減し、SDGsの達成やカーボンニュートラルの実現に貢献しています。

また、発明者が所属する企業・団体の代表者に贈られる『発明実施功績賞』が、当社社長の島三博に授与されました。

第46回織研賞にて、
名誉会長・島正博が『特別賞』を受賞

織研新聞社主催の第46回(2023年度)織研賞において、当社名誉会長・島正博が『特別賞』を受賞しました。織研賞は、繊維・ファッションとライフスタイル関連ビジネスの発展に寄与した者に贈られるもので、「卓越した開発力で横編機の革新を続け、世界の繊維産業の発展に貢献した」と島正博の功績が高く評価されました。

社内ベンチャーReMateri®が
『わかやま環境賞』を受賞

当社社内ベンチャーのサステナブル素材事業ReMateri®(リマテリ)が、和歌山県内の優れた環境保全活動を称える『わかやま環境賞』を受賞しました。牛乳パックをリサイクルした再生紙パルプを配合した紙の糸「REPAC®(リパク)」の斬新なアイデアとその開発・販売を実現する推進力に加え、県内外の小中学生を対象に紙リサイクルの現状や糸にする過程を普及している功績が認められ、本賞が授与されました。



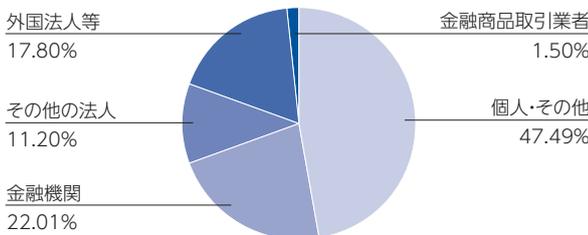
会社概要

(2024年9月30日現在)

商号 (英文表記)	株式会社島精機製作所 SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,346名(連結1,789名)

所有者別株式分布

(2024年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	基準日 3月31日 開催日 毎年6月
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 下記当社ホームページに掲載 (https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 によることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
同連絡先	

(ご注意)

証券会社に口座をお持ちの株主様は、住所変更の届け出や単元未満株の買い取り・買い増し等の各種お手続きに関しては、お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。

ホールガーメント®とは、SHIMA SEIKIが独自に開発した世界初の無縫製編成技術を用いた専用の横編機およびその横編機で編成されたニット製品の名称です。SHIMA SEIKI、シマセイキ、SWG、SWG-XR、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、APEXfiz、P-CAM、ReMateri、REPAC、SHIMA Datamall、yarnbank、トータルファッションシステム、ホールガーメントおよびWHOLEGARMENTは株式会社島精機製作所の登録商標または商標です。(©2023 SHIMA SEIKI MFG., LTD.)

